春陽會ニュース

「春陽会ニュース」発刊に就いて

中谷泰

われ〳〵はいつの間にか、團体の力で前進しようとする習性を植へつけられた。したがってこの事はお互ひ同志が深い理解と、親愛の情で結ばれてゐなければ叶はないことだ。

ところが今の世相の流れは、その、われ〳〵の意志とは反対の方向に流れゐる場合が多い。すべて疎遠になって、沈黙したり、お互いの生活にふれ合ふ機会を見逃したりしがちだ。幸にも今、小数の熱意ある人達の、團体的な力がほんの少し動いただけで、われ〳〵は巧みに再び強く結ばれるチャンスを掴へた。

この紙面でお互ひが無駄話をし合ひたり、不満を洩らしてみたり、強べてみたりして仲よくして行きたい。そしてこの紙面から大きな会の動きを、早く送ることを願はなければ

われ〳〵の努力はほつきりした結果となって酬はれよう、又その結果を見たい迄もお互ひの間に横たはる無駄を暗闇べ、遅延を長、距離が極端に短縮されるに違ひない。諸君！この秋、この新聞のスタートに心からの拍手をお送り下さい。（冬山）

「芸術の限界」抄

アンドレ・ジイド　河上徹太郎　訳

自然への真の侵犯は元来に遡ること、即ち死を意味してゐる。しかし人間は少しでも生きる意志即ち生命が残ってゐるとすれば、それは自然を敵として戦ふために残ってゐるのではないだらうか？　芸術家にあっては、それは、自然に対抗して自己を確立するものではないだらうか？

その二つの自然―外のものと内のもの―の対立を、何故理解しないか。立前者が加工され、形成されるのは、後者の力だと云ふことを理解しないのか。

芸術作品とは或る気質を通して見る自然の断片であると云ふ見解は今はもう充分とは云へない。この尤もらしい公式の中には芸術家の個性も意志も加はって居ず、私には不満なのである。絵画が頽ぶちからはみ出ないのは頽ぶちのせいではない。絵画が終ったからそこに頽ぶちが存在するのである。頽ぶちの存在は絵画の停止する点をはっきりさせ、絵画の独立性を二層強調する為に外ならぬ。

人間は自然に従属してゐるが芸術作品では反対に人間が自然を征服してゐるのである。

「人間は模倣し神は創造する」と云はれてゐるが、これは自然界に於ては正しいもかし之を次の様に訂正したい。即ち芸術作品にあっては、反対に神は模倣し人間は創造する、と。神は模倣するーこれは自然主義であり、又客観主義である。人は創造する――これは先験主義であり理想主義である。

パスカルは云った「彼にある事は人間の偉大さを示すものではない。同時に彼は敗れてその間を充す所に人間は偉大なのである」。

私達は芸術の限界を外部に求めること、早くから否定してゐたが、しかし元来限定と云ふものは存在物でなければ又私達に挑戦してくる性質のものでない。限界は私達の内部にある。それは私達の自己の拡大の限界のことである。作品にもべばり強力の極点と大小ものがあってこれを越へると作品はたちまちその力に負けて崩れてしまふ――この極点を越へては芸術家の内部にしか存在しない。

この内部の限界を拡大しその境界をおしひろめ求めるだけ多くの自然を求めるだけ自分に服従させた芸術家は幸福であり、又芸術家たる者はそう思さねばならぬ。

× × × ×

（これは一九〇一年アンドレ・ジイドの恢家達に講演する為に用意された草稿である）

空襲・すいの被害ひんぱん

日本側発表によるもの次の如くである。大村海軍航空隊に空襲に入れ爆撃機九機、他に五機新潮のンバッ五時頃数方向より来襲犯人は目下農林中。中谷泰は銀座上野南市電中ですりに不ストランプを切られたが之は余り藤貴の模様

編集後記

原稿は簡単明瞭で要領を得ず行間に行く途中略するならば現金五千円其の他里用書類を失ふ。

財政不金等も切羽詰って会より金額の現金合はせて数千円を送られてゐる。

各員は一層注意されたい。

家は初アたる三年中間はあるが、サイフはふんどしの中に大切にしまっておくかしてなどと成しなれば安心出来ぬ。